

赤塚氷川神社が板橋区景観賞に選ばれ、板橋区景観行政団体移行10周年記念式典にて表彰されました！！

景観賞受賞の表彰式



右から板橋区坂本健区長、赤塚氷川神社榎本宮司、板橋区観光大使の杉浦太陽さん、板橋区観光キャラクターのりんりんちゃん、景観審議会天野会長

赤塚氷川神社



板橋区では、良好な景観の形成の推進に資することを目的として、良好な景観の形成に寄与していると認められる建築物やまちづくり活動などに対し「板橋区景観賞」を授与しております。

昨年度は、赤塚四丁目の「赤塚氷川神社」が、閑静な住宅地における素敵な並木の参道や厳格な出で立ちが評価され景観賞を受賞されました。

板橋区景観行政団体移行10周年記念式典にて、表彰状と建築物に表示していただける記念プレートをお渡し致しました。

お知らせ

景観まちづくりの勉強会を開催します！



令和5年度から、景観まちづくりに関する勉強会を開催いたします！この勉強会を通して「赤塚四・五丁目地区の景観がこうなってほしい！」という皆さんの思いを形にし、実行していくための計画を検討していきます。ご興味・ご意見などある方は、ぜひ積極的にご参加ください。お問い合わせは以下をご覧ください。（詳細は、ニュースVol.2でご案内いたします。）

板橋区の景観まちづくりに関するお問い合わせ

板橋区 都市整備部 都市計画課 都市景観係
tel.03-3579-2549 (直通) email: t-keikan@city.itabashi.tokyo.jp



赤塚四・五丁目地区 景観まちづくりニュース

板橋区は、 素敵な都市景観を 目指しています。

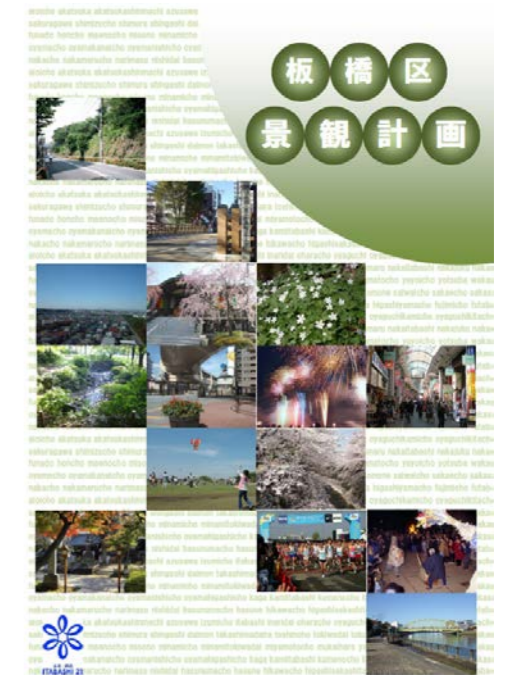


板橋区ではこれから、赤塚四・五丁目地区の皆さんと一緒に、地域の景観資源を生かした「景観まちづくり」に取り組んでいきたいと考えております。

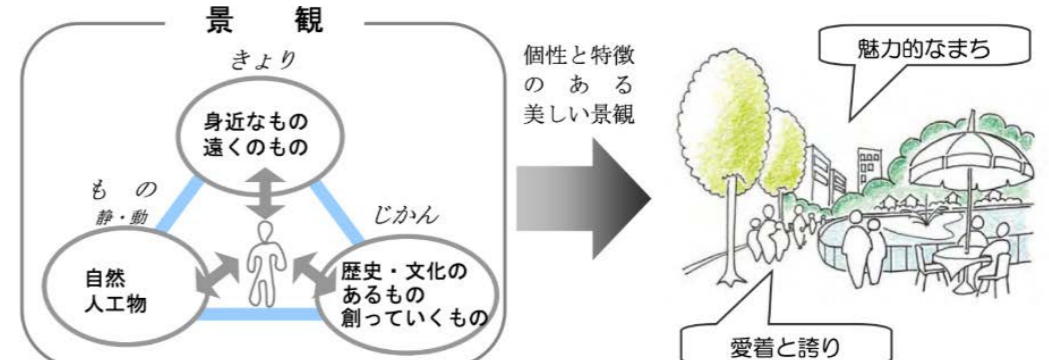
板橋区は、景観法及び板橋区景観条例に基づき、景観行政団体として平成23年8月に「板橋区景観計画」を策定し、良好な都市景観への取り組みを行っております。

具体的には、板橋区全域を一般地域とし、一定規模以上の建築物等を計画する際には、事前協議・届出を受けて、その計画が景観計画に適合しているか審査・指導を行い、それぞれの地域に沿った都市景観へ誘導しています。

また、特に景観に配慮が必要な地域を「景観形成重点地区」に指定し、計画の規模にかかわらず、事前協議・届出の対象にしています。



【景観形成重点地区】○板橋崖線軸地区 ○石神井川軸地区 ○加賀一・二丁目地区
○常盤台一丁目・二丁目地区 ○板橋宿不動通り地区



- 【主な景観協議内容】
- 外壁の色：色の範囲を定めることで周辺と調和した色合いとなるようにしています。
 - 設備の修景：エアコン室外機や電気設備などが道路から丸見えにならないように生垣や目隠しをするなど指導しています。
 - 植栽、外構：沿道や玄関周りへ豊かな植栽計画を施したり、舗装の色などが周辺と調和するようにしています。

板橋区景観計画で景観形成重点地区に指定されている「板橋崖線軸地区」は、お隣のエリアです。

がいせんじく



赤塚四・五丁目地区と崖線軸地区

皆さんがお住いのエリアは、松月院通り、体育館通り、三園通りに囲われているエリア（太線で囲われている部分）です。



赤塚四・五丁目地区では、近年建売住宅の計画に伴うミニ開発が増えてきております。しかし、景観に関する基準がないため、隣のエリアとギャップが生じてしまうことが危惧されます。そのため、お隣の板橋崖線軸地区と同様の景観に関する基準が必要ではないかと考えています。

既に景観形成重点地区に指定されている「板橋崖線軸地区」は、赤塚四・五丁目地区のお隣のエリアです。赤塚溜池公園、赤塚公園を中心とする崖線と、その周辺に点在する神社仏閣を含む範囲とされております。

【板橋崖線軸地区の景観形成の方針】

- 崖線の眺望、崖線からの見晴らしを守り、生かした景観の形成
- 四季の彩りを生かし、崖線の緑と調和・連続した景観の形成
- 水と緑のうるおいのある景観の形成
- 歴史・文化的資源を生かした、風情のある景観の形成

【板橋崖線軸地区】

赤塚五丁目（1、2、10～18、26～36）、赤塚七丁目28、赤塚八丁目、大門、高島平三丁目1（赤塚公園部分）、徳丸六丁目（22～55）、徳丸七丁目、徳丸八丁目、四葉二丁目

地元のセブンイレブンの中には、「ダークブラウン」の看板が掲げられた店舗が二店舗あります！

皆さんご存知の通り、本来セブンイレブンの店舗の看板は、コーポレートカラーである「オレンジ」、「グリーン」、「レッド」の鮮やかな三色の帯が鉢巻型に回っているものです。

しかし、区立美術館の近くの赤塚五丁目店やバス通り沿いの四葉二丁目店は、左のページで紹介しましたように景観に特に配慮が必要な景観形成重点地区の中にあるため、まるで那須高原や日光で見られるような、アースカラーの「ダークブラウン」で装飾していただきました。

アースカラーとは、ダークブラウンやグレーベージュなどの色彩のことで、緑に溶け込み景観に調和しやすい色彩です。

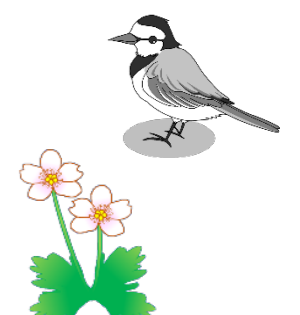
このエリアでは、緑が多く残っており、赤塚城址や松月院などの歴史・文化的資源も多く残っているため、これらに調和した景観まちづくりが進められております。



赤塚五丁目店



四葉二丁目店



板橋区が景観行政団体に移行して10周年を迎えました。記念イベントの動画を板橋区公式YOUTUBEチャンネルで視聴することができます。ぜひご覧ください！！



(YOUTUBEのページが開きます)

板橋区のホームページに、景観計画やガイドラインを掲載しておりますので、是非ご覧ください。



(区ホームページが開きます)